



もりの手紙

mo ri no te ga mi

4
卯月

NO 309 / 2023

森にこうよ!
もりメイト倶楽部
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美

広島市中区白島中町12-4

tel. 090-6419-7531

e-mail. info@morimate-ch.com

url. http://www.morimate-ch.com/



安全を第一に、
楽しく!
できる時に
できることを!

contents

- ★広島市民賞受賞：山本
..... 2
- ★4月例会案内（4月23日）
ゆとりの森景観整備
..... 3
- ★2月例会報告
楠那ふれあい樹林：富田
..... 4
- ★クラフト部会報告：佐藤
★里山部会報告：岩田
..... 5
- 《森づくり啓発シリーズ》
★薪割りプロジェクトの結成
：見勢井
..... 6
- ★樹木いきいき講座（17）：藤原
★今月のひと枝：オリーブ
..... 7
- ★4月・各部の活動案内
年会費納入のお願い
..... 8



広島市民賞授与式 令和5年(2023年)2月24日

「広島市民賞授与式」広島市役所、市長公室にて受賞者のみなさまと



私たちも 森づくりを応援しています。

- ◆イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン
- ◆株式会社ニシナ屋珈琲 ◆ゆめみらい株式会社
- ◆株式会社東和テクノロジー ◆こだまクリニック
- ◆中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり

《ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略》



もりメイト倶楽部
HIROSHIMA

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

- みんなで森づくり：健康で生き生きした森を育てます。
- 森を育てる技術を磨く：森づくりを学び、日々実践・研鑽。
- 森から学ぶ：人と森との関わりを学びます。
- 森の恵みを伝える：恵みを利活用し、拡げる活動。

例会

倶楽部のメイン行事（原則第4日曜日）
地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は1997年から活動している団体です。
広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています！

広島市民賞、ひろしま県民活動県知事賞、広島ユネスコ活動奨励賞、
全国林業普及協会会長賞など受賞歴多数。



「令和4年度 広島市民賞」を受賞しました！

理事長 山本恵由美

広島市民に夢と希望と安らぎを与え、元気な広島、住みよい広島をつくるために寄与した個人、団体に贈られる『広島市民賞』に選ばれました。

2002年から始まる受賞者を調べてみると、サンフレッチェ、広島東洋カープや鈴木誠也選手など著名選手ほか、様々な分野で活躍される錚々たる方々が名を連ね、今回もワールドカップ日本代表の森保一監督のほか、広島交響楽団の音楽総監督で指揮者の下野竜也さんなどと肩を並べるとは、事の重大さにびっくり仰天！！

市長公室にて開催された授賞式には、会の発足から尽力された前理事長の見勢井顧問も同行をお願いしました。市長初め副市長や関係局の部長、区長の列席で、張り詰めた緊張感が半端ない雰囲気の中、表彰状の授与の後で活動概要や苦労や展望をスピーチし、倶楽部の存在感を示す責任はなんとか果たせたと思います。多くの方々からお祝いの言葉を頂戴し、反響の大きさは想定を超えています。名誉ある賞を誇りに、また新しいステージへと成長できればと願っています。『Viva！もりメイト倶楽部Hiroshima！』



受賞のニュースは、NHKのニュースや新聞で報道され、たくさんの方々から「おめでとう」のお言葉を頂戴いたしました。写真中央：山本理事長

5年前の2018年に広島県が実施している「ひろしま県民活動表彰」において、知事賞を受賞したことも、この場で改めてご紹介いたします。

この賞は行政、学識経験者や企業、NPOで構成される実行委員会が、事前にNPO・企業・学校の各分野から選考し、まず3団体を表彰。その団体は、活動内容のプレゼンテーションを行い、会場の参加者（審査委員含む）の投票により知事賞を1団体決定し、知事から表彰状を授与されるというもの。



山本理事長を囲んで ~2018年3月15日~

私はヘルメットと地下足袋で登壇し、森でのみなさんの活躍ぶりを熱弁！作業姿で会場を沸かせたものの、企業も学校も動員をかけて賛同者を多く得る中で、倶楽部員の応援は平日にて6名だけ。投票には不利な状況下、ふたを開けると第1位。知事賞の受賞となり、同席メンバーと喜び合ったことは今でも鮮明です。

～広島県知事賞～ 自主的な社会貢献活動（非営利活動）を展開し、社会的課題の解決に特に顕著な功績があった団体を表彰することにより、団体の活動の活性化を図るとともに、県民の社会貢献活動への理解と信頼の向上を図ることを目的としている。

案内



4月地域貢献例会

「ゆとりの森」景観整備他 《担当：2班》

山あいの、初々しい緑の中で、気持ちのいい汗を一緒に流しませんか

◆日 時： 4月23日（日曜）9時30分～
※担当班のメンバー＆リーダーは9時00分までに集合して下さい。

◆会 場：【ゆとりの森】北広島町南方3733
※ナビで「ゆとりの森南方」を検索。または、『可部バイパス』を通り
セブンイレブン広島上根バイパス店に9時に待ち合わせ。

◆持参物： 山の道具・水筒《名札も忘れずに》
※弁当は要りません。オーナーの沖野様のご厚意により、昼食の提供を
していただく予定です。汁椀を忘れず準備して下さい。

◆申込み：4月15日（土）までに各班長へ連絡。
※申し込みの日を、準備の都合上早めています。ご協力ください。
※ 新入会員、賛助会員その他参加希望の方は 事務局へ
電話かメールでご連絡下さい。
090-6419-7531 : info@morimate-ch.com



ゆとりの森は、「ゆとりの森里山整備事業」として北広島町が認可した沖野さん所有の森です。オーナーの沖野さんが何十年もかけて里山林を整備し、みんなが自然を体験し集える森を創って来られました。

倶楽部との出会いは、2016年6月の中国新聞「オピニオン」に掲載された山本理事長の記事をご覧になった沖野さんから「活動の場に使って下さい」と連絡を頂き、以後、整備を含め研修の場として活用させて頂いております。一昨年は大雨による大変な被害に遭われました。この度の例会では、さらに景観を取り戻し素敵な森のために力を注いでいきたいと思います。ぜひ、たくさんのご参加を！！

5月の例会は、「尾長天満宮」鎮守の森の整備を行います。広島駅北口（新幹線口）より北（二葉山）方面に徒歩約10分。駐車場も準備しております。駅の傍で利便性に富みとても活動しやすい場所です。

2月例会 ～爽やかな風が吹き抜ける竹林を目指して～
 「楠那ふれあい樹林」竹林整備 2月26日(日)

参加者 40名(会員 25名 地域他 15名) 報告：4班 富田 実



おつかれさま。整備を終えて皆で記念写真



楠那公民館にてオリエンテーション



安全第一で作業する

白梅が咲き始め、山の斜面いっぱい暖かな陽を受け、春の訪れを感じられたこの日。ここ黄金山の麓は、地元企業のマツダロジスティクス(株)様が中心となって自然環境を守る取り組みをされてきた場所です。数年前から当倶楽部も「地域貢献活動」の一環として例会を行い、指導などに関わってきました。また当日、開会前に地元の方から飛び込み参加の申し入れが2名あるなど、地元への関心の高さに驚きながらのスタートとなりました。

オリエンテーションでは、「地域活性化への功績」が評価され、「令和4年度広島市民賞」を賜った事を山本理事長から報告を受けました。その後、竹林整備の注意事項について佐藤さんが説明、続いてラジオ体操を行い現場へ移動しました。

竹林整備においては、「4m当たり2本～3本」、「傘をさして歩ける間隔」に伐採を行うのがベストで、これまで

も特に密なエリアを選定し作業を進めてきました。しかし、場所によっては、倒れた竹や立ち枯れ、過度な密状態の箇所が非常に多く、今回は何よりも安全を第一に重視し、次の整備手順で作業を進めました。

- 1) 整備エリアを等高線上に横一列15m間隔に、5分割に設定し上下作業を防ぐ。
- 2) 各エリアとも等高線上に4m幅で带状に伐採し、作業道のスペースを確保。
- 3) 出来た作業道スペースを利用して、伐倒、玉切り、枝払いを行い伐り揃えて棚積する。

その上で、エリア内を定性伐採し基準とした竹林に仕立てる。

A班～E班ともに、決められた手順に沿って取り組んだ結果、担当エリア内の作業道はほぼ完成し、順調に伐採作業ができました。ただ、密度が濃くエリア全体で見ると50%くらいの達

成状況ではありましたが、当初から、量でなく質を高める作業が狙いであり、安全重視で、美観を整える目的は達成できたかと思えます。

また、マツダロジスティクス(株)から参加されたご家族12名は、午前中の子供たちもお父さんやお母さんと協力し、飽きることなく、熱心に作業される姿がとても頼もしく感じられました。担当エリア内も明るく日が差し込み、達成感を感じられたとお言葉も聞けました。

終了後に各班から気付きを述べて頂きましたが、今回の作業手順については高評価でした。次年度においても、決めた手順を継続し取り組むことで、安全を重視した効率的な作業ができると思えます。『爽やかな風が吹き抜ける竹林を目指して!!』



暖かな斜面での昼休憩。くつろぎのひと時。



お母さんに「しっかり押さえて～」



教わりながら竹を切ったよ。次は追い口だ。

★3月部会は鹿ヶ谷基地の里山の梅が満開、コバノミツバツツジなど木々が芽吹く季節になる中、砂防堰堤が4月より工事開始に伴う工事エリア内の倉庫、バイオトイレ移動後の庭木(10本)の移植作業と、湯来町「松波様一角をお借りしている製材機の仮移動後の復旧据え付け、製材機の試運転を行いました。移植はみどり会様の活動のフィールドの一角にある「メダカの池」のほとりに「びわ、銀杏」、入口看板横に「枝垂桜」移植。また、白木町三田の日頃活動のご支援いただいている妙國寺フィールドに、「梅、銀杏、びわ」を移植しました。みどり会様のメダカ池周囲、妙國寺フィールドで7年間クラフト部会の拠点で活動を見守ってくれた10本の樹木が各々のフィールドに集う方々の和める木へ大きく成長することを期待します。4月から部会活動拠点周りが工事関係で入場他制約を受けることになるかと思いますが、なんとか立ち退きまでは至らず部員一同安堵し、4月よりの活動計画の話し合いをして頂きました。約1年近くの工事で完成となりますが、その先に向け一区切りついたと思います。

4月より、新たなリーダーのもとにて、クラフト部会の集う役割として、森林資源の維持管理・活性化等で得た間伐材、除伐材の有効活用する理念に立ち戻り、また森林資源を活用し木工工作と里山の恵みを広報するボランティア活動など楽しみ、健康管理・仲間との協調を含め移植木と同じく会員皆様の協力と供に大きく成長して行きたく考えております。4月よりの新たなスタートよろしくお願ひ致します。



「みどり会メダカ池」周囲の植樹
北野さん



梅の木植樹(妙國寺)
中村さん



ブッポウソウ巣箱横の
びわの木(妙國寺)



製材機の据え付け試運転
(松波邸)

朝夕の寒暖差が気にならなくなり、桜の開花宣言予報もメディアで流される季節になりました。今年度最後の里山部会を、妙國寺裏山のスクウスクの森で開催。ナラ枯れ病樹木の除伐、鹿よけネットの追加、樹木の植え替えの作業を行いました。ナラ枯れ病除伐は、2班体制で、チルホール使用の班(A班)・比較的作業しやすい班(B班)に別れ、A班は3本、B班は5本の除伐を行いました。B班には、部会初参加「もりメイト育成講座26期生」の平尾さんが参加。普段はご自分の山でお1人で作業しているそうで、チェーンソーの安全動作の再確認を鎌田さん・本廣さんが付きっきりで指導されました。4本伐倒しましたが、最後の1本は、指導者の手を借りずに見守られながら作業、無事玉切りまで行うことができました。終礼では、『だいぶん鍛えられました。何とかできましたが、今後も安全に注意して作業を行います。』とのことでした。

今回は、倶楽部のマニュアルから逸脱した場面があり、即、軌道修正。安全のため、班で作業する場合はチェーンソーの稼働を班で1台と決めていきます。作業能率より安全優先!しかし、なんと5台のチェーンソーが同時に稼働する場面が見受けられ、作業を中断し作業工程の徹底を図りました。また、丁寧な棚積みを中心掛ける事が疎かになって



伐倒後の確認 本廣さん(左)と平尾さん



鹿よけネットを補強する。

いる場面も見受けられ、ある人から、「伐るのは誰でも出来る、棚積みがどうしてもできないのであろうか」との意見も出るほど。棚積みは、長さを決めて出来るだけ両端を揃え、きれいな見栄えよく行うことが大切。今後の課題としていきます。午後からは、スムーズに作業が進み14時30分に終了し後片付けを済ませ15時解散。次回は、4月9日地域貢献活動の草刈りと、水路清掃を行います、7時50分小川フィールドに集合、特に草刈りをよろしくお願ひします。本部会は通常通り9時開催です。当日の参加者20名。



もりメイト倶楽部 Hiroshima 発【 森づくり啓発シリーズ 】
 ～こんな事にも関わっています～



薪活(まきかつ)に取り組んでいます！

私たちの活動は荒廃した森を健全な姿に再生させるために、間伐や除伐を行います。次に重要なことは整備により産まれる材を有効利用すること。山から運び出し、製材して木工体験の部材を作り、色々なところで木育を進めてきました。そして昨今、薪ストーブの利用者が増えてきたということもあり、必ずニーズは出てくると見込み活動を進めています。

薪割りプロジェクトの結成

顧問 見勢井 誠

～薪割り機購入～



購入した倶楽部の薪割り機

2017年に(株)かんぼ生命保険様からの寄付で「いつか薪割り機が欲しい！」と念願していた薪割り機を購入、「薪づくり」という新しい取り組みを始めることができました。大型移動式で馬力があるので作業が楽に安全に行えるため、効率的です。

さっそく11月から30年来の友人の実家の山(湯来町)で、ナラ枯れ病にかかる前の対策も併せ、大経木の整備作業を行いました。薪をつくり現地の山林で乾燥させていましたが、湯来町の林病院長のご厚意により、広島に近い道路端のプレハブ内で保管を行なうことができ、完売することができました。

～薪作りの条件～

薪を作る条件としては伐倒し運搬しやすい場所の確保、薪割り機の保管場所、薪割り機を搬入しやすい場所、割った薪を乾燥する場所があること等、実際に作業をしてみると色々制約があり、薪づくりは想像以上に大変なことだということが判り、少しだけ気持ちが萎えてしまったこともありました。



～薪割りプロジェクトの発足と販売実績～



径50センチほどのアベマキを伐倒・玉割り

「薪づくり作業」は薪割りP(プロジェクト)としてのメンバーを募り作業を行なってきました。慣れない作業に長さは決めていても一定でなく、切り口が斜めになるなども見受けられました。商品としてお客さまへ販売するのであれば決まった長さに統一することが今後の課題だと思います。

2020年度は4軒で6台分販売し、2021年度は電話で営業をすすめ前年度購入頂いた3軒から5台分販売できました。2021年・22年はコロナ禍から薪の作製がままならず、22年度は在庫分だけの販売となり5台分販売したしたところで在庫がなくなりました。その後、21年度に購入していただいたお客さまから購入したいと電話を頂きましたが、お断りせざるを得ませんでした。作っていたのは殆どがコナラの優良な薪だと思えます。

～来期の冬に販売目指し準備始動～

やっと販路が期待できるようになり、来期の冬へ向けた販売のために、どんどん薪を作る必要があります。「薪割り機でバリバリ～と割る作業はストレス発散になる！」という人もいます。興味のある方はぜひ体験してみてください。

また例会等で整備した材は、薪にする長さに切るなど日ごろから意識を皆さんに持ってもらい、少しでも多く確保していきたいと考えています。

* 価格：軽トラ1台 15,000円+送料 2,000円(市内)



軽トラ1台 15,000円で販売。



樹木いきいき講座 <その17> 3班 藤原満男 シイタケ+柿のはなし

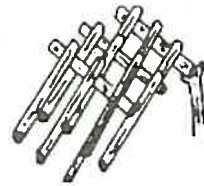


労多くして益少なしの感があり、シーズンに入る頃ホダ木を丸一日水に浸す作業をした。にもかかわらず例年に比べさほど増えなかった。冬に入って少し採れ3月の始めもチラホラで期待外れ。出始めの子実体(きのこ)が大きくなり干し椎茸状態で止まっているのに気がついた。

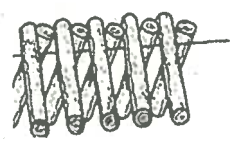
取説を読み返したら、過乾燥が原因だと解り、ホダ木を低く組み直し、発芽時期だけはシートで覆い、防風垣で囲うといいと書いてある。実際に合掌伏せからヨロイ伏せに変え、野菜のトンネル栽培のビニールシートで覆い、屋根材の波板で囲った。翌日からビニールシートの内側に水滴が付き始め、数日でボコボコボコと発生し、はっきりと結果が出た。しかもゴリゴリしてうまいのです。

植菌(駒打ち)の直後にたっぷり散水するというのも忘れずに。仮伏せ本伏せは土の上、コンクリートは高温になるし湿気が上がって来ないのでいけません。シイタケは5月初めまでが収穫時。ぜひおためしあれ。

ヨロイ伏せ



合掌伏せ



※



車の運転ができず、かみさんに何もかも頼る生活が3か月近く続いたことがあった。少しでも役に立つことをして、生き甲斐が欲しいので、料理を教わることにした。味噌汁を作り朝食の準備、それに昼と晩飯の手伝いを1年ほど続けている。

昨年秋 柿でジャムを作った。熟したのを使う所を1つだけ未熟で渋いのを、加熱するから大丈夫と判断した。渋味が全部に広がったが、しぶしぶ食べた。

江戸時代頃までは、渋柿ばかりだったそうで、長い時間

をかけて今で言う品種改良が行われ甘柿が生まれた。だから甘柿のはずなのに陽当たりなどが原因で部分的に渋かったりする。

なんとかして干し柿を自前で食べたいと思い5年前に西条柿を植えた。大きくなって実が付かないので伐採を考えた。一昨年、落葉した頃1つ実が付いていた。去年は15個。正月に食べるのを忘れたので真夏に解凍して食べようと思う。

※イラストはキノコ博士の井本さんからご提供いただきました。

今あひこ枝 原田 澄



オリーブ

<モクセイ科 オリーブ属>

常緑の小高木~高木。地中海沿岸で古くから栽培されている。日本に渡来したのは江戸時代の末期。関東地方以西の暖地で庭木や公園樹、鉢植えにされ、現在は小豆島が国内で最大の産地。葉は、硬くて細長く、対生に付き、葉身は3~6 釐の全縁。葉の表が灰緑色、裏は銀白色で木全体が青白く見えるのが特徴。花は5~7月。芳香のある黄白色の小花を多数付ける。実は、長さ1.2~4 釐で品種により大きさや形は様々。ピクルスや果肉からオリーブ油をとる。材は硬く緻密で油分が多く耐久性に富み、装飾品や調理用などの道具類に用いる。・・・▼鉢植えの我が家のオリーブ。明るい緑の葉としなやかな枝が春の陽を受け、やさしく揺れる。▼春の陽は木々を目覚めさせ、山々はもうすぐ色とりどりの緑で彩られる。その合間にヤマザクラやタムシバ、コバノミツバツツジが点在し里山は春の息吹に包まれる。▼オリーブは平和のシンボルツリー。花言葉は『平和、安らぎ、知恵、勝利』。巡る季節に願いを込めて。 ~佐伯区湯来町 2023・3~



—4月—

活動の予定

各部会はどなたでも自由に参加できます。ぜひ、いろいろな活動をご体験ください

年会費納入のお願い

4月から新年度に入りました。

会を運営していく中で、皆さんの会費が大きな支えとなっております。

個人年会費は3,000円、振込先は下記の通りです。どうかよろしくお願い致します。

令和5年度第1回もりメイトキッズ開催

- 日時 4月16日(日)
- 場所 大竹市松が原キッズフィールド
- 内容 シイタケ菌打ち体験
コバノミツバツツジに囲まれて森林整備
- 4月15(土)にキッズの準備をします。
9:00～お昼まで。
主な作業は、草刈り、テント支柱設置、地ならし他
- 連絡先：佐々木
mamakin0404@yahoo.co.jp



～自家木工・クラフト挑戦希望の方自由に参加お待ちしております～

- 4月は1日・8日・15日、29の土曜日
山本町鹿ヶ谷基地で活動します。
22日(土)は例会前日の為休会としました。例会活動に励みましょう。
- 連絡先：佐藤 090-1682-6305
Satoken069@yahoo.co.jp

クラフト
部会

- 日時：4月9日(日)9:00～15:00
- 場所：小川フィールド
～安佐北区白木町中三田地区～
- 作業：・地域貢献活動の草刈り&水路清掃
(7時50分集合)
本部会は通常通り9時開催。
環境整備他
- 持参品：水筒・弁当・山の道具
- 連絡先：岩田 080-5751-3798

里山部会

【5月号】の会報発送作業は下記の通り実施します。
どなたでも、都合のつく方はご参加ください。

- 日時：4月26日(水)18:00～
- 場所：広島市まちづくり市民交流プラザ3F



会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って森林保全の整備活動を展開しています。会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用した木工クラフトの作成指導、青少年等に森林管理の重要性を伝えています。私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方、またはご寄付を募集しています。

会員の種類

- 【正会員】：倶楽部の実作業と組織運営に積極的に関わる、個人及び団体。
- 【賛助会員】：倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

年会費

- 【個人会費】：3,000円
- 【企業会費】：50,000円

会費・ご寄付の振込先

【広島銀行 白島支店】(普) 3 2 8 3 3 8 3
 【ゆうちょ銀行】1 5 1 7 0 - 1 8 0 2 9 2 9 1
 《口座名：特定非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima》

お申込み方法

下記まで電話、又はメールで
 【電話】090-6419-7531
 【Email】info@morimate-ch.com